

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成


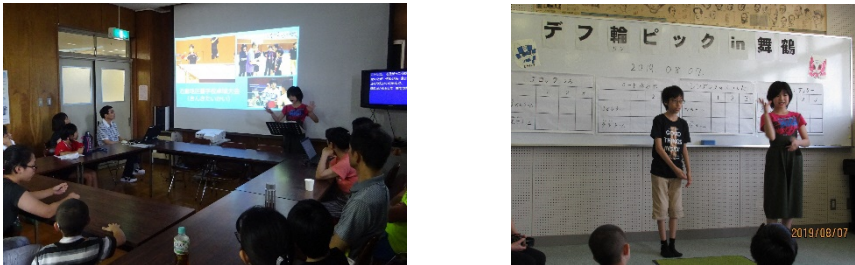
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【京都府】

学校名【 聾学校 】

1 実践テーマ	【 III V 】
2 実施対象者	本校高等部 卓球部、陸上競技部1～3年生（10名） 本校中学部 卓球部、陸上競技部1～3年生（9名） 舞鶴分校 幼稚部5歳（1名）、小学部1～6年生（11名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 中学部・高等部：体育） ② 行事名（ 舞鶴分校幼稚部・小学部 運動会 ） ③ その他（ 中学部・高等部：部活動） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 （ねらい）	・交流を通して、人権意識の向上を高め、あらゆる障壁を挑戦する力、意欲を身につける。 ・障害のあるなしにかかわらず、自分のできることに自信を持ち、他者とつながる気持ちを育む。 ・活動を通して、大きな集団で活動し、個人の目標達成する喜びを知る。
5 取組内容	（1）中学部、高等部の取組 ① 事前学習（北嵯峨高等学校生徒対象）6月20日 実施 ア 今回の活動の目的と活動内容について イ 京都府立聾学校について （ア）聴覚障害について （イ）手話について （ウ）コミュニケーション方法について （エ）困った時の対応などについて ② 事前学習（本校中学部、高等部生徒対象） ア 今回の活動の目的と活動内容について イ 交流に向けての姿勢について ③ 交流当日 ア 北嵯峨高等学校女子ソフトボール部と本校高等部 （ア）合同練習 7月10日 7月23日 実施 （イ）交流試合（混合チーム）7月30日 実施 イ 北嵯峨高等学校卓球部と高等部卓球部 （ア）合同練習 10月2日 10月23日 10月30日 実施 ウ 北嵯峨高等学校陸上競技部と中、高等部陸上競技部

	<p>(ア) 合同練習 10月30日 11月13日 実施</p> <p>④ 事後学習 取組後に感想等を聞く。</p> <p>(2) 舞鶴分校の取組 本校高等部生徒との交流 分校では、幼稚部・小学部の卒業生とともに取り組む行事を実施している。今年度は、西舞鶴高等学校との交流機会が設定できなかったため、本校高等部に在籍している生徒から卓球を教わった。</p>
6 主な成果	<p>1 中学部・高等部生徒 2・3年生は以前に経験済みで緊張感はなく、むしろ楽しみにしていた様子であった。1年生は初めてで緊張していたが取組の回数を重ねる毎に和らいでいった。競技レベルの高さを感じるとともに練習や試合に対する姿勢や態度を学ぶことができた。また、大きな集団の中に入れたことも良い経験となる。</p> <p>・交流の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>事前学習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>陸上競技部部活動 (高等部)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>マラソン大会に向けて (中学部)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>卓球部部活動 (高等部)</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>ソフトボール大会に向けて (高等部)</p> </div> </div> </div> <p>2 舞鶴分校 今回は、運動会を活用して、卓球を学ぶことができた。 卓球を通じて、中学部・高等部の部活動や近畿大会、全国大会の様子を聞き、中学部に進学する不安を和らげる、部活動などの楽しみなどを学べた。 運動会以外に、卒業生との交流を行い、中学部や高等部、大学での学校生活の様子や、職業人として生活している社会生活の様子を聞き、将来展望を描けるように卒業生と交流を実施している。</p>

	<p>・ 交流の様子</p>  <p>運動会 昼食休憩時の交流</p>  <p>卒業生と在校生との交流（学校生活とレクリエーション）</p>
7実践において工夫した点 （事業の特色）	<p>本校中学部、高等部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聾学校の教員から北嵯峨高等学校の生徒に対して聴覚障害や手話についての説明を行い、当日、手話で自己紹介をしてもらった。 ・ 交流当日では生徒同士での交流の場にした。聾学校の生徒も筆談などのコミュニケーションを使って、交流をした。 <p>舞鶴分校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回は卒業生との交流であったため、コミュニケーション手段の工夫は必要ではなかったが、児童にとって、年上の人に教わる姿勢に配慮した。
8主な課題等	<p>本校中学部、高等部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度によって実施状況が変わる。 ・ 放課後等に実施の為、活動時間の確保が難しい。 ・ 1回のみの取組にならないように調整をする。 <p>舞鶴分校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生との交流になると平日の実施が難しい。 ・ 地域の学校との連携になると日程調整が難しい。 ・ 交流教育、共同学習とのつながりの整理。
9来年度以降の実施予定	<p>本校中学部、高等部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度以降も継続して実施したい。 ・ 交流する学校へ行き、合同練習をしたい。 ・ 校内で行えるオリンピック・パラリンピックの取組も検討したい。 ・ スポーツ以外の内容による交流を検討したい。 <p>舞鶴分校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度以降も継続して実施したい。